

桔梗

陶寿会
加藤 末子



№.69

発行所 泉町連合区会
発行責任者 連合区会長 安藤 恭彦
事務局 (泉公民館内)
土岐市泉中寮町 TEL 55-3653
編集部長 今井 敏美

泉の自治だより

題字 安藤 恭彦 会長

十五年年度の連合区会の活動

泉町連合区会長 安藤 恭彦

会長を仰せつかつてから一年、多難な年を何とか乗り切ることが出来ました。これも偏に町民の皆様のご協力、自治会に寄せる深いご理解と、班長、町内会長様はじめ各区役員の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

今年、まさに3市1町の合併問題で明け、合併問題で終わった一年だったと思います。前半は市の特財制度に焦点を当て、私たちが守ってきた山の権利をそのまま新市に引き継ぐよう求め、市も合併協議会で強力に主張し、その方向で決着をみる事が出来ました。後半は、合併が市民生活に及ぼす影響に視点をあて、議論を重ねて参りました。セラトピアで実施された住民説明会で三〇〇名を超える方々が予定時間を大幅に超えて熱心な議論をなされました。

ご存知のような結果となり、今後はそこで論議された事項を生かして、新しい土岐市づくり而努力する事が大切だと思えます。

次に、連合区として活動した主な事業について述べてみたいと思います。

① 泉西児童センター建設促進
この問題は平成十三年度以来の懸案事項です。当初より、建設場所について市当局と認識の違いがあり、それが協議されないまま二年を経過、本年になって建設場所を指定して再要望し

ました。それに対して、建設場所を検討する中で、地元のご意見を聞きながら建設に向けて努力するという回答がありました。

② 泉公民館の新築移転
利用人口に適応した施設拡充を求めた。当初の回答では、現在の公民館の建て替えではなく、河合にも一館建設するという事でした。連合区で協議した結果、河合は河合として、利用者の利便性からも現公民館の拡充を優先するという立場で、現公民館の周辺五〇〇米以内の適地を取得し新築を再要望しました。その事は、市にもご理解頂き、地元の要望に沿うよう検討させて頂くという回答がありました。

「1」の一年を振り返って
駅前区長 山本 堯彦

平成十五年年度の駅前区長の重責を引受けてから一年が過ぎ長いようで短い一年間でしたが幸いにも区三役各町内会長、女性部の方々の積極的な御協力のもとに区の行事を進め得る事が出来た。例年のごとく伊野川、土岐川清掃、自警団結団式、研修旅行、陶祖祭、織部夏まつり、駅前区祇園祭盆踊り、敬老会、草山、久尻神社の年間行事が実施されたが、駅前区の夏まつりは巨大迷路が恒例になってしまったが、今年度は趣向をかえ(緑日祭子供イベント広場)とした。内容は金魚すくい、射的、綿菓子、ポップコーン、宇宙くじ、パズルゲーム、宇宙投げ、ヨーヨー釣り、ダーツ、以上を町内ごとに割り当て各自でセッティングして当日午後二時より開催、参加料は大人百円、小学生は十円、としてはじめてが予想以上に評判が良く多数の入場者でかなりの数量の景品を用意したが品切れとなり、午後四時頃に閉会した。その時の多数の景品は町内の皆様からの提供で、このような盛大な緑日祭りになりましたことを心から感謝し厚く御礼申し上げます。収益金二万一千三百二十八円は泉社会福祉協議会に寄付させていただきます。本年度区長として新たな参加した行事は、「土岐市中心市街地商業活性化推進事業」委員として、はいつて小屋プロジェクトチームの一員となり、推進事業の勉強会や各種イベントに参加しました。又駅前中

心市街地の商店街を活性化して行く為の拠点となる施設「ゆのみ」を建設される予定です。二、土岐市バリアフリー基本構想策定協議会、地元自治会の代表として安藤連合区会長と駅前区長が委員として参加しています。三、都市計画道路新土岐津線道づくり委員会、駅前区自治会役員及び歴代区長さんを主に委員会を設立し、早期実現をめざし努力しております。四、三市一町合併について「住民意向調査投票の結果、合併は見送りとなり、政府奨励の合併が無視されては市として不利益となり、今後の市政に大きな影響を与えられる。今回の合併はとも必要で市の将来を思えば、市民に対し強行に説得

すべきではなかったかと思えます。五、「東南海地震に備えて」市により防災倉庫が駅前区久尻区の共通倉庫として文化会館裏に設置してありますが、区としても自警団組織の強化連絡網行動マニュアルの整備等の強化をしながらはなりません。市の要望としては各区にも自警団器具庫の設置をのぞんでいます。それについての費用及び設置場所は区で(一部補助金あり)用意しなくてはなりませんので区民の皆様のご協力を今後共お願いする所です。

最後に、合併が、一年間無事に終わりましたのも町内会長さんをはじめ各役員関係者の方々の御尽力のおかげと厚く御礼申し上げます。

平成十五年年度の自治だよりの編集部を仰せつかり、早一年になりました。若葉マークの私達でしたが町民の方々ははじめ関係諸団体の皆様のご声援ご協力によりまして無事一年を終えました。本当に有難うございました。この泉の自治だよりは、昭和の大合併から引継いでいる様々な問題や毎年各区からの要望事項、地場産業振興問題(各町)行事など多くの事が泉連合区会に寄せられていますので、こうした問題を一つ一つ解決するため、連合区会は、県議会議員、市議会議員関係諸団体の人々と互いに連携し、より安心、より住みよい泉町、土岐市の発展のため努力、活動されてい

ます。こうして、編集部が全町民の皆様へ報告発表しております。(問題を解決したいから)皆んな頑張っている次第です。又町民の皆様から貴重なご意見が編集部へ寄せられて誠に有難く感謝しております。この紙面に、少しずつですが改良し、皆様町民の泉の自治だよりとして発展して行きたいと願っています。

そして、編集部長を一身上の都合で今回号をもちまして退部させていただきます。

平成15年度
活動報告

- 2/2 声かけ運動と交通指導
土岐市自治会連絡協議会 理事会
- 3 泉小道徳教育地域協議会 理事会
- 16 声かけ運動と交通指導
泉町連合区三役会
- 19 二宮賞 教育文化賞授賞式
- 20 泉町連合区会
- 21 織部の日開業式典
- 25 新丸子橋線(仮称)道づくり委員会

- 3/1 声かけ運動と交通指導
土岐市自治会連絡協議会 理事会
- 4 市有林管理委員会
- 6 自治だより編集部
- 8 連合区女性部役員会
- 11 泉市議団と連合区協議会
- 12 土岐市自治会連絡協議会
- 13 自治だより編集委員会

- 3/16 泉町連合区三役会
- 17 公民館審議委員会
- 19 泉町連合区会
- 21 泉町連合区会計監査
- 23 がやがや会議
- 25 泉町連合区決算総会
- 26 泉町連合区新旧顔合わせ会

- 4/5 泉町連合区三役会
- 9 土岐市自治会連絡協議会総会
- 10 第一回泉町連合区会
- 15 泉町連合区総会

- 行事予定

編集部からのお知らせ
泉の自治だより編集部長 今井 敏美

一年を振り返って

久尻区長 山村 誠司

平成十五年度 久尻区長の
大任を受け早くも一年が
過ぎようとしています。

この一年を振り返って見
ると……

(一) 防災訓練

平成十五年一月に「久尻
区自主防災マニュアル」が
制定され、このマニュアル
に添った防災訓練を実施し
た。

午前八時三十分各町内避
難場所に集合し訓練場所に
移動し煙体験をして防災訓
練開始となった。

北消防署・消防団泉分団
・レスキューハート土岐・
ききよう分団及び地域防災
協力員の方々に指導頂いた
だき、また、その他多くの
方々にご支援をいただき無
事訓練を終了することがで
きた。

「自分の命は
自分で守る。
自分達の地域は
自分で守る。」
このことが、防災の基本
であり、防災意識の高揚を
図る必要があることを、痛
感した。

自分達の地域は
自分で守る。
自分達の地域は
自分で守る。」
このことが、防災の基本
であり、防災意識の高揚を
図る必要があることを、痛
感した。

(二) 地震による地震体験
必ず来るといわれる「東
海地震」震度四とはどの程
度の揺れか、震度五は？震
度六は？

いろいろなことを、なん
ども経験することにより
「もしも」の時にどう対処
するか実感として身に付け
ていく必要がある。

(三) 親睦ソフトボール大会
久尻区には区民の親睦を
図る目的の「親睦ソフトボ
ール大会」があります。野
球大会に参加できない方、
女性等が参加できるように
目的に数年前から始まっ

ています。
久尻区には「めん
どうを見る会」がありソフ
トボール大会は、その会に
全面的にお願いして実施し
ました。この紙面をお借り
して御礼を申し上げます。

(四) 女性部
今年度から、連合区に女
性部が発足し初代の連合区
女性部部長に久尻区女性部
部長が就任した。

「夏祭り」二敬老会「公民館
まつり」施設慰問「そして
施設等」へのタオル配布
等々、人の集まる場所必
ず女性部の姿がありました。
ますます女性の感性が必
要とされる時代です。これ
からも女性パワーをお願い
いたします。

地域文化と区民の和

定林寺区長 水野 一夫

定林寺には長い伝統を引
き継ぎ祭りがあります。
春には初午祭り、夏は九万
九千日夏祭り、秋は稲荷神
社御興行列、冬は元日祭り
等が行われます。

特に夏祭り九万九千日は独
特の造り物等、定林寺文化
といえる物ではないけれど
うか、祭りを通じて区民全
員が一つになり身も心もそ
の祭りにとけこみます。先
人が後世に遺した物です。今
年は是非伝統文化の目を向
け先人や先祖の心を返すと
り元氣一杯、子供や孫に心
のふる里を残したい、それ
が大人が引き継ぎ引き継が
せる義務だと思います。

この伝統を受け継ぎ区民
の和を広げる事が大切で
祭りを通じて計り知れない
力が生まれることを今年区
民の皆さんにこの様なメッ
ッセージを送りました。祭りを
通じて人と人の心と和を生
みだす力が育ち大きくなる
と信じて郷土に在る由緒長
るものを発見することが大
切です。

大変盛況な祭りが夏、秋
冬、春と続き充実感を味わ
いました。
また今年も定林寺にとっ
て特筆すべきことが三つあ
りました。

一、四月の県議会選挙で矢
島せいごうさんが戦後二人
目の県会議員の誕生です。
二、水野菊夫さんの宮内庁

閉塞的な時代といわれる
昨今、できるだけ出会いの
場を多くもち対話の輪を広
げたいものです。少し古い
言葉ですが「向こう三軒両
隣」この精神でありたいも
のです。

な。久尻区には「めん
どうを見る会」がありソフ
トボール大会は、その会に
全面的にお願いして実施し
ました。この紙面をお借り
して御礼を申し上げます。

(五) 役員研修旅行
午前八時集合し北消防署
(応急手当講座受講)核
融合科学研究所へ東濃鉾山
へ。土岐市に居住して
いながら、個人ではなかな
か見学する機会もない施設
を見学できたことは、それ
なりの効果があり有効な
研修であったと思います。
特に全員「普通救命講習修
了証」がいただけたことは
一つの成果であった。

(六) おわりに
この一年大過なく過ごせ
たのも、良きスタッフに恵
まれたお陰だと感謝してお
ります。町内会長の皆さん
女性部の皆さん、そして区
役員の皆さん、また、久尻
区民の皆さん有り難うござ
いました。今後もお互いに
切磋琢磨して「住み良い」
「明るい」久尻区にしよう
ではありませんか。

なりゆきです。意向調査に
賛否がはつきりとNOが出
されずつきりしあまりにも
将来の姿が見えない説明で
は当然な結論です。現行通
り、合併後速やかに調整と
露する事が出来、新聞三紙
に紹介され大変喜ばれ祭り
の和を知り、子供達と楽し
一日でした。祭りが大人
と子供一体でコミュニケーションが
一層深い諸問題の
原点です。

三市一町合併問題が一年
余りの協議に結論が出て白
紙にもどりましたが当然の
結果です。

春の園遊会に招待されたこ
とです。当日の話をみなさ
さん達に話され大変うれし
く感じました。

三、秋稲荷神社御興八台の
新調を区民のみなさんに披
露する事が出来、新聞三紙
に紹介され大変喜ばれ祭り
の和を知り、子供達と楽し
一日でした。祭りが大人
と子供一体でコミュニケーションが
一層深い諸問題の
原点です。

三市一町合併問題が一年
余りの協議に結論が出て白
紙にもどりましたが当然の
結果です。

三市一町合併問題が一年
余りの協議に結論が出て白
紙にもどりませんが当然の
結果です。

一年を顧みて

河合区長 加藤 嘉晴

昨年四月より区長という
大任を担い微力な私に何が
できるのか不安一パイでス
タートしたのを昨日のよう

に思い起されます。こま
ま勤めて来られたのも、私
を支えて頂いた役員、町内
会長さんを始め区役員の皆

様方のご支援ご協力の賜と
心より深く感謝致すと共に
厚くお礼申し上げます。
昨年もしも不況の中、
地場産業も長いトンネルか
ら抜け出せず暗闇のまま
何時になったらとの感を受
けております。

三市一町合併問題に明け
暮れた一年でもありました
が、先般の住民意向調査に
於いて判定が下され、反対
票が過半数を超える結果と
なり、合併は白紙に戻す
ことになり、今迄なんだっ
たのと同じ感否もありません
この河合区は懸案事項が
山積しております。先ずは
この地区の集会所として利
用されている河合公民館、
築後三十余年経ち床等に傷
みが激しく多人数での集
みが困難な状況にあり、集
会が急務と思われるます。
次いで宮路踏切廃止に伴
いJR南、側道建設の件は、
昨年度二つの条件付で引継
ぎましたが、舗道の設置は
却下され、側道のみ工事
となり、今年一月に市、J
R及び地権者との間で確認
(現地)し了解が得られ、
今後測量、設計を経て、工
事着手は今年の秋の予定と
確認しております。又昨年
区画整理準備委員会が解散
されました。については、岩
野、中野町の下水道工事と
の兼ねもあり今後市への対
応は如何なる方法がベター
なのか苦慮致しております
この点、皆様のご意見を頂
き折衝に当る所存です。次
も昨年度より引継事項です
が、甘草溜池改修について
は、今年度具体的に動き計
し申請、同意書及び事業計
画等、地権者(受益者五十
五名)の署名と捺印を頂き
提出致しました。基本計画
では総事業費一七六四〇万
円(地元負担三割)、着手十
六年四月、完了二十一年三

月の予定で施工される事と
なりました。又行政界(河
合、月吉境)問題(平成十
二年度に再三協議されるも
結論は得られず、尾根を基
本に行政間に解決を託した
という経緯がある)が再燃
し、昨年四月名鉄不動産よ
り市へ確認願があり、五月
に現地で行われるも両者の
主張(月吉、名鉄不動産は
現況、河合は尾根)に変わ
り、何れも譲らず持ち
越しとなりました。立合後、
管財課と今後の対応を協議
結果、河合は過去の経緯を
基に主張を貫くことを確認
致しました。

最後に区民の皆さんに多
大なるご支援ご協力に深
く感謝し、皆様方には益々
のご健勝とご活躍を祈念
申し上げます。

区長・雑感
大富区長 野村 勲

人上為るは則ち易く、下
為るは則ち難し。然れども
下為る能わずんば、亦下を
使う能はず。『近思録』
人の上で権力を振るうの
は容易だが、人の下で地味
に働くのは難しい。しかし
人の下で働けない者は、部
下を使うこともできない。
この考え方で町内会長が仕
事ができるよう努力はした
今年度の重点目標は前の言
葉を頭において、行動した
一、町内環境の快適
一、区民生活の向上
一、区有資産の管理と町内
会活動促進を目標とした。

年度当初から県会、市会
衆議院選挙と四年に一回と
は言え、特に市会には地域選
挙であり候補者を出した町
内は、町内会長、隣保班長
の苦勞は大変である。大富
区は最終的に三名となった。
私は立ち会いの会場において
私見ではあるが選挙権のあ
る方は投票所に来て頂くこ
とは国民の義務であること
とお願いをした。短い期間
であつても行動に戸惑いが
あつた。投票率は向上した
特に南投票所は前回に比較
して六ポイント近くアップ
した。大富区推薦の候補者
は全員当選を果たした。町
内会長、隣保班長の喜びと
その責任を達成した安堵感
いっぱい顔を見て、私も
感動した。当選された先生

諸氏は初心を忘れず、市民
に答えるべく努力されるこ
とを期待している。
毎年の行事
大きな行事として夏祭り
がある。子供会、女性部、
白山神社、区会と全市民参
加の中で区会が企画した。
親子で楽しむ盆踊りと太鼓
の競演を企画した。子供会
を中心とした土岐津の炎太
鼓、今評判の青年男女を中
心のたじみ太鼓、二チーム
の乱れ打ち、共にその音色
は腹に響いた。夏の夕暮れ
の一時を満足してくれた。
又白山神社では夏の病を
祓うと言われる茅ノ輪くぐ
りの神事が神社総代の努力
もあって盛大に行なわれ評
価を得た。最後の時間にな
って雷雨が発生子供会、女
性部が練習をしてきた盆踊
りも披露することなく夏祭
りは終わった。

区有資産の管理
区資産として草山入会権
を保持している。毎年九月
に入札により三月間入山
できる権利を売っている。
今年も多数入札者の参加を
得た。競り士のマイクで太
鼓を打ち、競りと興奮を感
じる瞬間、緊張と興奮を感
じる。結果は前年と等しい
実績を得た。役員一同心を
なせおろした。

女性部の活躍
田口部長を中心に二十二
名の役員は時代のニーズに
合った活動を求めて話し合
った。私も三行事に、参加
理について、環境センター
の講演を受けた。百名近い
参加者があった。区民から
の質問にテキパキと答えら
れない。参加者に不満が残
った。公民館祭りを拝見し
た。区民の協力を得てパー
シーを開催された。十一萬
の収益を得た。公民館、慈善
団体に寄付された。又老
人介護について講師を招き
介護保険、介護用品、衣服
の改良、介護施設見学を突
施した。相当な時間をかけ
てボランティア活動をいた
だいた。区民から評価をい
ただいた。

大富区の今後
数年前より開発されてい
た(仮・織部の丘)工事が
完成した。十六年度より北
山第2号として区会に住宅
が完成と同時に加入される
こととなった。数年後には
大富区も二千二百に近い会
員となり住んで楽しい街づ
くりを目標に大きな区とな
る。時代に沿った文化、福
祉等の進んだ区として発展
されることを望む。

又東海地震が予測されて
いる。自分の命は自分で守
るよう努力された。災害
時に一番力になるのは町内
の方の協力である。日頃の
協力から明るくたよりにな
る町内を作りあげていた
だき度い。

大富区は
数年前より開発されてい
た(仮・織部の丘)工事が
完成した。十六年度より北
山第2号として区会に住宅
が完成と同時に加入される
こととなった。数年後には
大富区も二千二百に近い会
員となり住んで楽しい街づ
くりを目標に大きな区とな
る。時代に沿った文化、福
祉等の進んだ区として発展
されることを望む。

又東海地震が予測されて
いる。自分の命は自分で守
るよう努力された。災害
時に一番力になるのは町内
の方の協力である。日頃の
協力から明るくたよりにな
る町内を作りあげていた
だき度い。

